

# 花と緑のネットワーク通信

暑くて長い夏がやっと終わりました。紅葉や秋の味覚と外出する楽しみも多い頃です。今回は、主催事業やイベントの告知、さっぽろタウンガーデナーと花と緑のボランティア団体の活動の様子や、公園の紅葉情報などをご紹介します。

## Report 街なか花いっぱいプロジェクト「ちょいボラDAY！」を行いました



さっぽろタウンガーデナーに登録していない方でもちょっとした花壇の維持管理（摘心・切り戻し）体験ができる「ちょいボラ DAY!」。9月14日は朝から雨が降りしきるあいにくのお天気でしたが、札幌市民交流プラザ前のます花壇で2回目の「ちょいボラ DAY!」を実施しました。体験に参加した方からは「街なかでバラが咲いていたり、花壇があるのは素敵ね」との感想が聞かれました。今回植えた植物は花期が長いものが多く、赤くかわいらしいミニバラや、爽やかなブルーサルビアが街を彩り、三尺バーベナやグラスのスティパが風にそよぐ姿を初夏から秋まで楽しむことができました。



街なかの新しいフラワースポットになれたでしょうか？  
グラスと三尺バーベナがメンバーに人気でした

## Report 押し花クラフト講習会を行いました

「押し花づくり隊」のみなさんを対象に、「押し花クラフト講習会」を開催しました。講師に南区のさっぽろタウンガーデナーで、押し花インストラクターの畑田和子さんをお迎えし、植物やお天気によって重しの重さや押す日数を変えるなど、詳しい押し花の作り方を教えていただきました。



ひとりひとりの個性が  
キラリ! 光りました

コースターとポストカードの2種類のクラフト制作では、各自が作った押し花をベースに畑田さんのアドバイスでカラフルな押し花を足して、ワンランクアップした作品が仕上がりました。会場には畑田さんにお持ちいただいた素敵な作品が並び、参加した方からは「本当に押し花で作ったの？」と驚きの声。講習後には「来年はきれいな押し花を作って、もっと素敵な作品をつくりたい」との意欲的な声が聞かれました。



畑田さんの作った素敵な作品の数々をご紹介します

押し花づくり隊のみなさんからご提供いただいた押し花を使用します。ぜひ、「押し花のフローティングフレームづくり」にご参加ください！

## さっぽろ花と緑のネットワーク イベント予告 11月9日（木）交流会を開催します！

場 所：札幌エルプラザ3F ホール  
申 込：10月23日（月）～11月8日（水）

「押し花のフローティングフレームづくり」と「タネ・苗交換会」を行います。フローティングフレームを作ったり、またご自分の庭や活動先で育てて増やしたタネや苗を持ち寄って交流しませんか？  
※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

参加費無料

◆押し花のフローティングフレームづくり  
時間：13：30～14：30  
定員：40名（先着順）



◆タネ・苗交換会  
時間：14：45～15：30  
定員は設けておりません

公園の紅葉情報♪ 青く澄んだ空に赤や黄色に染まった木々の紅葉と、まわりの景色との組み合わせは公園によって異なり、訪れる時期によっても変わります。今年はどこに行きましようか。

旭山記念公園  
TEL:011-200-0311  
9月下旬～10月下旬  
シラカンバ、サクラ、カエデ類などが色づき、見晴らしの良い景色とともに紅葉が楽しめます。



滝野すずらん丘陵公園  
TEL:011-592-3333  
10月中旬～10月下旬  
街なかよりも一足早く色づきます。カエデやコキアの紅葉を楽しむイベントや展示も行います。



平岡樹芸センター  
TEL:011-883-2891  
10月中旬～11月5日  
ヤマモミジ、ノムラモミジなど8種類700本余りのモミジが燃えるように美しく色づきます。



百合が原公園  
TEL:011-772-4722  
10月末～11月初旬  
4か国の庭園が楽しめる世界の庭園では、紅葉が作り出す各国の秋の景色が魅力です。



紅葉する時期は、過去のおおよその目安です。天候によって毎年異なりますので、お出かけになる前にご確認ください。

## あおぞらまつりに出店しました

9月9日「創成イースト あおぞらまつり 2023 in サッポロファクトリー」に押し花クラフトのお店を出店しました。レジンクラフト作りと、缶バッジ作りの2種類のワークショップに、押し花のフローティングフレームのキット販売を行い、延べ105名の方にご利用いただきました。押し花づくり隊のみなさんが作った押し花は、「わあ、きれい」と歓声があがり、参加された方は色とりどりの押し花を選ぶことから楽しく体験されました。事前準備会と当日の会場設営、ワークショップ制作補助で、8名の応援スタッフにご協力いただきました。「缶バッジやレジンがうまくできた時に見せてくれた笑顔に感動しました。楽しかったです。」とはじめて応援スタッフを経験した方から感想をお聞きしました。青空の下、たくさんのお子さんとふれ合った楽しい1日でした。



自分で作ると楽しい！  
缶バッジ作り



うまくかたまるかな？レジン作り

## YouTube 公開中



花と緑のボランティア団体とさっぽろタウンガーデナーの活動の様子や、過去のまちづくりフォーラム、マイタウンマイフラワープランの種と資材を使った育苗方法などをYouTube公開しています。再生時間の長い動画は、ネット環境の整った場所でご覧ください。

さっぽろ花と緑のネットワーク YouTube チャンネル  
[https://www.youtube.com/channel/UCwIPGaAtbrz5\\_mt2C-dOKpA](https://www.youtube.com/channel/UCwIPGaAtbrz5_mt2C-dOKpA)



## Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2023年9月30日現在

さっぽろタウンガーデナー (313名)							
中央区	55名	北 区	40名	東 区	34名	白石区	26名
厚別区	25名	豊平区	41名	清田区	12名	南 区	20名
西 区	27名	手稲区	24名	その他	9名		
花と緑のボランティア団体 (全 33 団体)							仲間が増え 新規 TG

仲間が増えました！  
新規TG 4名

SNS も見てね！  
facebook ページ  
「さっぽろ花と緑のネットワーク」  
instagram  
@sapporo\_hanamido  
X (旧 twitter)  
@sapporohanamido

発行・編集  
さっぽろ花と緑のネットワーク事務局  
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階  
(公財)札幌市公園緑化協会内  
WEB: <https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>  
TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577  
E-mail: [flowers@sapporo-park.or.jp](mailto:flowers@sapporo-park.or.jp)

主催 札幌市建設局みどりの推進部



## 編集後記

あんなに暑かった夏がうそのようにあっという間に秋になりましたね。通勤中に創成川公園のハギを見るたびに花札が思い浮かび、昔の人もこんな風に秋を楽しんでいたのかな？とついつい思いを馳せてしまいます。(武田絵) 暑中、花壇のお手入れをしたことも、もう遠いことのように、朝晩冷え込むようになりました。いつものようにコスモスの花が揺れてトンボが飛び交う秋、おいしいものを食べてまた来年への活力を蓄えましょう。(齋藤)



## 花と緑のネットワーク 活動ひろば

花と緑のボランティア団体とさっぽろタウンガーデナーの活動をご紹介します。

### 花と緑の EGG 札幌国際大学ガーデンコンサート

清田区



7月22日、札幌国際大学のイネーブルガーデンでコンサートが行われました。鮮やかな花や緑濃い木々に囲まれたガーデンを背景に、

3組の演奏が行われました。参加者は

芝生広場の思い思いの場所に座り、ゆったりと演奏を聴きました。ガーデンの

中心にある4基のレイズドベッドには、「花と緑の

EGG」のメンバーの思いのこもった白、赤、

ピンク、青を基調にしたデザインの花が生き生きと咲いていました。キュウリや

トマトは、コンパニオンプランツ

と一緒に育てて、互いの育ちの良さに驚いているのだとか。

ガーデンと音楽がコラボした素敵な時間を楽しみました。



ハーブウォーターで  
おもてなし

### 中央区 ガーデニング リラの会



9月2日、「ガーデニングリラの会」のみなさんのご協力により、「さっぽろまちづくりガーデニング講座」の第13回の講座「花と緑のボランティア」が行われました。これまでの活動や植栽している植物について講義を行った後、大通西8丁目の花壇に移動。受講生は4つの花壇に分かれ、会のメンバーから丁寧な説明を受けながら除草や枯れた葉の除去等夏の終わりのメンテナンスを行いました。講座受講生は、会のメンバーが知識の豊富さに驚き、一緒に活動したことで具体的な花と緑のボランティアのイメージができたようです。

これをきっかけに、花と緑のまちづくりの仲間が増えるといいですね。

### 東区 さっぽろタウンガーデナー吉川さんと浜田さん 苗穂・本町地区センターの花壇で活動中！



今年はカラフルなたねダンゴ花壇

大きく生長するか、利用者の注目の的になっているとご報告いただきました。

5月27日に、地域の親子10組が参加して、「たねダンゴ花壇づくり」を行いました。「発芽から開花まで、育つ過程をたくさんのセンター利用者と楽しめるたねダンゴは、地区センターの性質にとっても合っています」と吉川さん。元々種まきからの野菜作りが得意な吉川さんですが、今年はセンター敷地内の花壇にも力を注いでいるそうです。センター前に植えたコキアがどこまで



センター前のコキア「本町君と苗穂ちゃん」は思わず笑みがこぼれるかわいさが評判です

### 環境サポーターズ 三次郎の会 ひらおか庭園コンサート

清田区



9月16日、平岡樹芸センターで行われた「第13回ひらおか庭園コンサート」では、会場設営から当日の受付や司会進行まで、会のメンバーが大活躍。平岡中央中学校吹奏楽部の元気な演奏ではじまり、清田高校吹奏楽局の軽快なジャズ、陸上自衛隊第11吹奏楽隊の統率のとれた演奏に魅了されました。

爽やかな秋晴れとなったこの日、会場には生徒の友人やご家族など多くの方がいらっしゃいました。

このコンサートがきっかけではじめてセンターを訪れる方も多く、会の

のぼりや看板など、PRにも力が入りました。温かいおもてなしが随所であり、居心地の良いコンサートでした。



園内の植物で作った豪華なアレンジメント

### 中央区 さっぽろタウンガーデナー海老沼さん カルチャーナイトのフラワーアレンジメント講師をしました

中央区のさっぽろタウンガーデナー、海老沼さんが、7月21日に行われた「カルチャーナイト2023」のエスタプラニスホール会場で「親子フラワーアレンジメント教室」の講師をしました。花材には、ヒマワリやカーネーションの他、エスタ屋上「そらのガーデン」で育ったキャットミントやセダム等の花も加えられました。参加者は1本ずつ花を手に取り、どのように活けるかよく考えて、制作しました。海老沼さんの



丁寧なアドバイスで、ご自分の作品をつくりあげた参加者の笑顔が会場にあふれました。

はじめてのフラワーアレンジにチャレンジ！

### 札幌駅前通ストリートガーデンの 植替えに参加しました



9月10日、札幌市北3条広場（愛称：アカブラ）で行われた「札幌駅前通ストリートガーデン」のフラワープランターの植替えに、17名のさっぽろタウンガーデナーが参加しました。札幌駅前通ストリートガーデンは、通勤途中や観光散策などの街あるきを

「花や緑で楽しむことができる」ように、小さな点から線へとつながってゆく取り組みです。これから寒くなるまで駅前を彩る植物は、シクラメン、パンジー、カルーナ、ハボタンなどの4種類。1人1つのプランターの

植え替えを担当しました。プランターは、札幌駅前通りを中心に50基ほどが設置されて

います。赤や黄色の暖色系の花色が、秋の街並みにアクセントを添えています。

### 花壇でよく見かける植物

人気の連続ドラマで取り上げられたこともあって、植物学者の牧野富太郎氏の功績が注目されました。「世の中に“雑草、という草はない。どんな草にだって、ちゃんと名前がついている」とおっしゃったことで有名です。普段何気なく雑草として一括りに扱っていた植物に目がゆき、名前を調べて覚えたという方も多かったのではないのでしょうか？なかには、かわいい花が咲くものもあります。

花壇でよく見かける植物をご紹介します。なかなか名前が出てこない、アレですよ～

#### カタバミ



#### カタバミ科

ハート型の3枚葉で、黄色の小さい花が咲く多年草。大根のような太く長い根で宿根します。早く抜かないと一面に増えます。

#### スベリヒコ



#### スベリヒコ科

日あたりの良い、乾燥気味の環境に生える一年草。こぼれ種で増える厄介な植物ですが、酸味があって美味しいという方も。

#### ハキダメギク



#### キク科

牧野氏が命名した、湿り気のある環境を好む一年草。花壇の中から頭を出したかと思うとあっという間にばびこります。

### まちを花と緑で彩る「まちづくり体験実習」

#### 永山記念公園花壇づくり

9月26日、宿根草の管理で数年ごとに必要な株分けの講習会を行いました。講師は豊平公園緑の相談員の石垣美深さんです。宿根草の管理全般について、またなぜ株分けが必要なのか、いつ行うといいのかなど講義を聞き、花壇で実習を行いました。「株分けの適期は、秋は9月中旬から10月上旬の冬に向けて根が活着する期間がとれる頃、春は4～5月の新芽が伸びはじめる頃。4～5年に一度は成長をチェックして、育ちすぎたものは株分けを、育ちの良くないものは植え替えを検討しましょう」と、石垣さん。花壇の植物を増やしたり減らしたり、上手にコントロールしてゆきましょう。

#### 宿根草の株分け、移植、補植講習会を行いました



地下茎で増えるギボウシは、太い根が絡まっていて、まず掘り上げるのに一苦労。力強くスコップでグサッと切って分けました。

大きな穴を掘って、たっぷりの堆肥を混ぜた中に移植すると、保水性と通気性が良くなって活着しやすくなるのだそうです。



ほふく茎で増えるラムズイヤーと株立ちのネペタは、手やハサミを使って3芽以上のまとまりに分けました。

